

令和6年度

第1回 四万十町ケーブルネットワーク放送番組審議会要旨

日 時 : 令和6年9月20日(金) 午後2時00分~午後3時15分

場 所 : 四万十町役場 3階 防災対策室

出席委員 : 鈴木弘平、中城由美子、中町博信、中屋建八、野村宏、味元加奈、山本由美

事務局 : 川上課長、坂本対策監、芝野係長、松田(以上 企画課)

四万十公社 : 大崎課長

■ 会議次第

- 1 開会
- 2 企画課長 あいさつ
- 3 新委員紹介と会長の選任
- 4 議 事
 - (1) 報告事項
 1. 加入状況
 2. 放送実績ほか
 3. 自主放送の停波・放送事故・訂正放送報告ほか
 4. 前回の審議会後の主な経過報告
 - (2) 自主制作番組視聴
 - (3) 質疑応答
- 5 閉会

■ 会議結果 (要旨)

3 新委員紹介と会長の選任

会長 : 中町博信 副会長 : 中屋建八

4 議 事

(1) 報告事項

指定管理先の四万十公社より報告。

1. 加入状況

P1-加入状況について説明。

2. 放送実績ほか

◆ 自主放送番組の内容および番組制作に関連する報告事項

2-1 定期放送 ニュース番組（しまんと放送室）

P3-番組を制作する上で、内容的には、中学 2 年生のレベルで理解できる内容を心掛けています。また、音声だけでは分かりづらい部分については、字幕スーパーを入れて文字で情報を補完するようにしています。

昨年度に引き続き CM 枠を設け、その利活用に積極的に取り組んできた結果、今年度は町内の民間企業から数社、広告放送の依頼がありました。

P6-第 1043 回 2024 年 5 月 6 日～放送分

このあたりからくぼかわ病院様に CM 放送を出していただいた結果、その CM を見た企業様等から、5 月以降、CM 放送に関する問い合わせが数件入っている状況となっています。

P8-第 1051 回 2024 年 6 月 3 日～放送分

東又出身のプロの落語家である三遊亭萬都さんの二枚目昇進も兼ねた落語会が、県民文化ホールで開催されるということで、民放さんが制作された CM でしたが、それを持ち込みという形でケーブルテレビで放送したこともありました。

企業 CM のみならず、こういった形でも幅広く対応しています。

P14-くぼかわ病院様の CM 撮影の様子

CM 撮影の場合は、照明機材も使用し、きれいなクオリティーの高い映像制作に取り組んでいます。

P15-CM 放送の周知

CM 放送の周知については、チラシも作成し宣伝していますが、委員の皆さまにおかれましても、関係しそうな方がいらっしゃいましたらお伝えいただければ幸いです。

2-2 定期放送 ミニ企画番組（四万十うおっちゃんぐ）

2-3 特別番組・他局番組

P19-5 月に運動会や体育祭を実施する学校が増えてきています。これまでは、秋に集中していましたが、春に実施する学校が増えたことで、分散して取材にあたる状況となっています。

2-4 生放送番組

P20-今年は台風の影響もなく予定どおり、窪川まつり花火大会、四万十川まつり、四万十大正あゆまつりのイベントの様子を花火を中心に生放送させていただきました。

また、会場に足を運べないお年寄りの方、四万十町に帰省できなかった方をターゲットに、Youtube でも同時配信しています。番組内では、協賛という形で団体様の紹介文と字幕を紹介する放送枠を設け、募集させていただいた結果、数社協賛いただいて放送した経緯があります。

P21-高知ケーブルテレビさんの番組で、高知市からよさこい踊りを生中継で放送する「熱踊！よさこい 2024」という番組があ

ります。その番組内で、四万十ケーブルテレビが制作した四万十町のよさこい踊り子隊「四万夢多」の練習風景の VTR を流していただきました。ケーブルテレビの垣根を超えて、共同で番組を制作するという趣旨で参加した番組となっています。

2-5 行政放送

P21-15 分番組ですが、役場からのお知らせだけでは 15 分にならないこともあります。その場合は、その空いた時間に四万十町の公式 YouTube で配信されているケーブルテレビ以外のプロダクション等が制作した季節映像なども差し込んで、15 分の間、視聴者が退屈しないような構成で、今年度は放送しています。

2-6 四万十町議会 定例会

2-7 四万十町議会 臨時会

2-8 高知県議会中継

2-9 他局への番組コンテンツ提供

P23-「四万十うおっちゃんぐ」という番組を、全国のケーブルテレビの有料チャンネルで見ることができる「チャンネル 700」で配信させていただいています。

また、以前までは NHK の「CATV 直送便」という番組で放送していましたが、現在、NHK との契約事務処理中のため、休止となっています。今後、事務手続きが完了次第、再開することになります。

2-10 その他のテレビ局での放送

2-11 文字放送

2-12 データ放送

2-13 災害対応について（台風 10 号関連）

P24-台風の進路が読めず、長期戦となり 1 週間くらい対応した形となりました。具体的には、役場内にある放送室の準備であったり、河川監視カメラの映像に普段は放送していない四万十緑林公園の展望台から吉見川が映るような映像を追加して流すような対応をしております。

また、一部停電が発生したことにより、河川監視カメラがダウンした際には、急遽、発電機を作動させて応急復電なども行っています。

3.自主放送の停波・放送事故・訂正放送報告ほか

4. 前回の審議会後の主な経過報告

4-1 前回の審議会後の主な経過報告

4-2 業務風景

P26-カメラを安定させる「ジンバル」という装置とか写真を撮るカメラに近いような「Cinema Line カメラ」という機材を最近導入しまして、映像のクオリティの向上や技術の向上という面で、新しい機材の勉強もしながら映像を制作しています。この後、四万夢多の本祭の映像をご覧いただきますが、その映像もこの「Cinema Line カメラ」と「ジンバル」という機材を使用して撮影したものになります。

質疑応答

中町会長：これまでのところで質問や意見はありませんか。

中屋：四万十うおっちゃんぐ内の「あしあと」というコーナーですが、コーナー名を平仮名表記にしているのには、何か意味がありますか。

大崎：デザイン面であるとか制作者の意図や遊び心もあって、平仮名となっています。

中屋：このコーナーでは、いろんな旧道を紹介していますが、町内には旧道がいっぱいあるのですか。

大崎：町内には結構、こういった旧道があります。今は踏みつけ道になっている道や、途中、土砂が崩れて行けなくなっている道もあります。放送を見た方からは、昔、遠足でその道を歩いたことがあって懐かしかったですといった感想のお電話をいただいたこともあります。

このコーナーは、コロナ禍で人と接触して番組を制作することが出来ない時期に、何か制作できるものはないかと考えた時に、誰にも会うことなく、ただカメラ片手に旧道を歩くというコーナーが生まれました。

中屋：非常にいいコーナーやね。あと「四万十のたから」もいい。子どもたちがご飯を食べている姿を見るだけで、涙が出てくる。

大崎：「四万十のたから」については、各保育所の園長、所長のご理解があるので、現場でも非常にスムーズに撮影ができています。

(2) 自主制作番組視聴

① 行政放送 2024年7月1日～放送分 木造住宅の耐震化について（危機管理課）

② 四万十うおっちゃんぐ 第851回 2024年9月5日～放送分
～四万夢多の本祭の様子 各会場の映像を1曲にまとめました！～

③ しまんと放送室 第 1076 回 2024 年 9 月 5 日～放送分
～CATV 施設見学 影野小児童が放送の仕組み学ぶ～

質疑応答

中町会長：3 本ご視聴いただきましたが、質問や意見はありませんか。

中屋：CATV の施設見学は、影野小学校だけですか。

大崎：最近来ていただいたのが影野小学校で、公社としては随時受け入れを行っており、タイミングさえ合えば社会科見学には応じています。影野小学校は児童数も少ないので、極力全員が映るように制作しているので、どうしても放送時間は長くなってしまい、間延びしてしまう感じはありますが、それもケーブルテレビの良さではないかと思っています。

野村：四万夢多の映像がすごくきれいだった。あの映像は、先ほど説明があった新たに導入したカメラで撮影したものでか。

大崎：そうです。Cinema カメラの分類に位置付けられるもので、撮影後に編集で色味などを修整できるものになります。

中屋：新たに機材を導入すれば、その使用方法を習得するのも大変ではないですか。

大崎：そうですね。今はインターネット上で機材の使用方法などの動画が、無料で配信されているサイトなどもあるので、そういったものを日々見ながら参考にもしているところです。

中城：ちょっとしたミュージックビデオのようで、感動しました。せっかくなので、他に放送できる機会があれば放送してもいいと思います。

大崎：四万夢多さんには、若干、費用負担をいただいて四万夢多の SNS や広報媒体でも公開されるようになっており、インターネット上でも活用していただける動画になっています。

山本：町内で職業体験などがあれば、そういった様子も放送してあげたらいいなと思いました。

大崎：職業体験についても、依頼があれば受け入れるようにしています。一昨年度に窪川中学校から 5 名の生徒に来ていただいたことがあります。それから、インターンという形で窪川高校の生徒が、放送や音響に興味があるということで、今年の夏休みに数日間来て、仕事を手伝ってもらうような感覚で職業体験をしてもらったこともあります。

中城：町内でも知らない場所や行ったことがない場所が結構あるので、そういった切り口の番組があってもおもしろいと思います。

大崎：旧道を歩いて紹介する「あしあと」というコーナーが、もうすぐ終わりになるので、それに変わるコーナーを今考えています。四万十町から町外、県外へ抜ける道が色々あったりするので、町境へ行くというような番組など、普段は行かないような所を紹介するようなものも考えているところです。

味元：十川のこいのぼりの川渡しの 50 回目の節目の放送を見ました。昔と今の映像を織り交せて制作されており、この映像は地元との信頼関係があるケーブルテレビでないと制作できないものだと感心しました。

地域の色々な取り組みを取材し、そして映像として残していくという意味でも、ケーブルテレビの必要性を感じました。

大崎：ただ放送するだけではなく、地域のお祭りなどを次世代に継承するためにも、デジタルアーカイブという観点で写真では残しきれない動きがあるものを、きちっと映像で残して行って、それを地域へ還元し、それが教材として残っていくというのが理想のスタイルだと考えています。

会長：四万十町には多くの移住者が来て、皆さん頑張って生活していますが、そういった方にスポットを当てた番組はどうでしょうか。

大崎：移住してきた方を取材して放送することで、これから移住を考えている方たちの後押しにもつながると思いますので、検討してみたいと思います。

中町会長：他にありませんか。

全員委員：ありません。

中町会長：これで番組審議会を終了いたします。次回の会議は 3 月を予定しています。